

鳩森八幡神社例大祭

ワッショイ！ワッショイ！

9月10日、11日に鳩森八幡神社の例大祭がおこなわれ、子ども神輿、大人神輿が千駄ヶ谷の街に繰り出しました。

ジュースやスイカ、ソーメンなどを用意して迎えました。代田副院長、日向事務長があいさつ、参加者をねぎらいました。

代々木病院がヒロティ・駐車場を休憩所として

鳩の森神社の例大祭に

参加して、今回が初めての参加で、子どもが小さい頃近くの神社のお祭り

友の会が入った宮本（組）町会は、子どもたちが引く太鼓山車、子どもがかつぐ子ども神輿、大人がかつぐ大人神輿と3台出ました。鳩森神社の裏から出発して、代々木病院で一休み、そこで友の会からの差し入れを

の休み、そこで数軒の差し入れがあり、汗を拭いたあと坂を登って神社へ。神社の前で奉納儀式をしたあと、神主のはかりで宮入りをしました。これは今までになかったことだそうで、氏子としてはありがたいことだそうです。

参加のみなさん、ご苦労さまでした。

幹事 関谷義孝



待合室

8月か
ら、代々木
病院の事務
長になりま
した。宜し
く願います。

わたしが生まれ育っ

たのは、茨城県出身の
明治の作家である長塚
節の著作「土」に記さ
れた米作地帯に近いと
ころでした。今でも緑
豊かな田園風景がひろ
がる茨城県筑西市（旧
明野町）です。その当時
はこの家も大家族で
必ず、お年寄りが家族
の一員でした。しかし、

生きるということ

足腰が弱り、認知症に
なったお年寄りの生活
を援助、介護するのは
決まって、その家の女
性（主に長男の嫁）を中
心とした家族でした。

なくてはならなかった
お年寄りや母、女性た
ちを思い返すと、今で
も悲しくつらい時代が
浮かび上がってきま
す。その事がわたしの
民医連運動の原点なの

活も改善されました。
反面「介護難民」「漂
流老人」等の悲しい文
言が新聞等から発信さ
れ、日本の社会保障制
度の虚実をあばき出し
ている事も事実です。

院）の理念及び活動を
共同組織の皆さん、地
域住民及び労働者、そ
して行政や医療・介護
関係者の皆さんと共に
すすめてまいります。

最後にありますが、
患者様、利用者様のご
紹介をぜひ、お願いし
ます。当院も経営改善
に向け、全職員あけて
取り組みをすすめてい
ます。経営の改善及び
安定が医療活動や民医
連運動の前進には欠か
せません。ご協力をお
願います。代々木病
院事務長 日向正美

うでした。忙しい農作
業や家事の合間に、母
や女性たちが、寝たき
りのお年寄りの介護を
するのは当たり前なの
かもしれないが、劣
悪な環境の中で療養や
生活、そして介護をし

かもしれません。
しかし、時代は流れ
て今はどうでしょう
か。確かに、介護保険
制度も導入され、以前
に比べれば多くの高齢
者や障害をもった方た
ちが制度を利用し、生

「楽しく人の役に立つの
が嬉しい」と生き生き輝
いていると報告がありま
した。

「楽しく人の役に立つの
が嬉しい」と生き生き輝
いていると報告がありま
した。

「楽しく人の役に立つの
が嬉しい」と生き生き輝
いていると報告がありま
した。

全国共同組織交流集会

今こそ共同組織・友の会の出番

第13回全日本共同組織
活動交流集会が9月4日
と5日に石川県で開か
れ、全国から2000名
が参加しました。

今回の集会は「決める
のは私たち 憲法を生か
し平和・人権・環境をま
もろう 地域まるごと安
心して住み続けられるま

ちづくりを」がメインテ
ーマ。記念講演は柳澤深
志城北病院副院長から
「いのちに寄り添う民医
連と共同組織」について

自分が医師として歩ん
できた道を息子に語る体裁
で語られました。

翌日は、分科会が行わ
れました。

翌日は、分科会が行わ
れました。

会長 布施 仁

「安心して住み続けら
れるまちづくり」の分科
会に参加。すべての発表
内容は、地域住民の要
求、願いに寄り添いなが
ら会員とともに、地域と
ともにを大事にし、ひと
りのために、みんなのた

三多摩健康友の会は
「孤立しない、させない、
つながろう」と地域で居
場所づくりに取り組み、
健康づくり、送迎、サー
クル活動を通して担い手
が生まれ、ボランティア
活動では、「人と関わり
ながら自分が輝く場」

「たまり場・居場所づ
くりの実践の交流」の分
科会に参加。それぞれ
が、高齢者の孤立孤独感
の解消や助け合い活動の
拠点として「いつでも、
誰でもくつろげる居場所
・つながりがあって、地
域まるごと元気になれる
たまり場・気軽に立ち寄
れホット安らげるサロ

全国各地で多くの仲間
が同じ思いで、同じ様
なことをしている姿に日々
の活動の大切さを実感
し、嬉しく思いました。

また活動できる所定の場
所があり、いつでも使
え、色んな取り組みが可
能になっている共同組織
も多く、うらやましく思
いました。

また活動できる所定の場
所があり、いつでも使
え、色んな取り組みが可
能になっている共同組織
も多く、うらやましく思
いました。



友の会のページ

「お元気ですか」改題No.344
編集 代々木健康友の会
☎03(5411)9589
FAX 03(3404)3421

会費納入のご案内
会費納入は、郵便振替が便利です。
会費は年間1,000円です。
口座番号 00190-7-71019
加入者名 代々木健康友の会
9月1日現在会員数約4471人

代々木健康友の会 第50回記念総会へぜひご参加を

友の会は、1962年に「代々木病院後援会」として発足、1974年に「代々木病院友の会」、2006年に「代々木健康友の会」と名称変更して、今年が50回の記念すべき総会となります。

今総会は、節目の年として、三部構成で企画しています。みなさんと歴史を振り返り、さらに前進させるべく気持ちを新たにしたいと考えております。

ぜひ、ご出席をお願いいたします。

日時 2016年10月23日（日）午前9時30分会場10時開会 終了は3時を予定しております。昼食をご用意します。
第一部 通常の定期総会
第二部 50回記念「思い出のアルバム」
第三部 文化行事 代々木病院合唱団バンブー他
会場 全理連ビル9階会議室（JR代々木駅徒歩3分）

代々木健康友の会 第50回定期総会方針案

憲法守り、安倍政権の暴走ストップ！希望のもてる政治の転換を求め、医療・介護をはじめ、あらゆる活動で50回記念総会の年にふさわしい前進をかちとりましょう

活動のまとめと方針

私たちをめぐる情勢

7月10日投票票でおこなわれた参院選挙は、安保法制＝戦争法廃止と立憲主義を取り戻そうと野党共闘が実現し、一人区32のすべてで野党統一候補をたててたたかいました。市民が「安倍暴走政治NO」「政治を変えよう」と声をあげ、まさに主権者が行動した歴史的な選挙でした。11の選挙区で自民党候補に勝利したことは、新たなたたかいへの展望をきりひらきました。

を踏みこむ大暴走で、絶対許すわけにはいきません。今年の原水爆禁止世界大会では、「ヒバクシャ国際署名」を世界で数億筆の規模で集め、国を核兵器廃絶の方向へと包囲するたたかいを前進させようと呼びかけられました。友の会は平和運動の柱に据えてとりくみます。

安倍政権は、戦争法の本格的運用をこの秋にも開始し、内戦状態にあるアフリカの南スーダンで活動している自衛隊の任務を拡大し、武力行使ができるようにしようとしています。戦争法のもとで、自衛隊が、戦後初めて外国人を殺し、戦死者を出す危険が迫っています。憲法違反の戦争法の発動を許さず、戦争法を廃止するために全力をあげましょう。

小池百合子新都知事は、選挙戦で「五輪関連予算の適正化」「待機児童ゼロ」「介護施設不足を解消」などを政策としてかかげました。都民の願いにキッチリこたえるよう運動を強めます。

安倍政権の暴走が各分野でいよいよひどくなり、しかも、どの問題も選挙では語らず、争点隠しでやり過ごしてきたものばかりで、まさに国民「だまし討ち」の暴走政治です。

安倍政権は、昨年4月、要支援1、2の人の「保険給付外し」につづき、要介護1、2の新たな「保険外し」を計画しています。要介護1、2の人のむけの食事づくりや掃除といった生活援

医療、介護などの社会保障の大改善、伊方原発の再稼働、TPP（環太平洋連携協定）、辺野古新基地建設での沖縄への強権政治など、どれも民意

2000万の戦争法の廃止を求める統一署名を積極的におすすめ、友の会として1303筆（全体では2927筆）を集め、「友の会・9条の会」も推進を担いました。病院の玄関前、千駄ヶ谷、代々木駅での宣伝行動や、三者共闘で病院周辺の商店訪問にとりくみました。



鳩森神社例大祭で代々木病院が休憩所に



「戦争法廃止」「野党共闘」



外苑診療所で「もちつき」



鳩森神社盆踊りで健康チェック

助、自宅改修費援助の縮小などです。こうした削減は、高齢者の生活の自立を妨げて要介護度の重度化をすすめ、家族の介護負担を高めることにつながり、安倍政権の「介護離職ゼロ」にも逆行するものです。

ますます、無差別平等の地域包括ケアシステムの構築を国・自治体に迫り、独自の支え合いの運動も重要になります。また、高齢者の医療費窓口負担を2倍に増やし、入院時の食費・居住費の継続的な値上げも検討されてお

り、「医療難民」に拍車をかけることにもなります。人々のいのち、健康に深く関わる医療・介護・福祉の前進を求める共同組織として、病院、職員、さらに地域の方々と連携し、社会保障削減など、安倍政権の暴走を阻止しましょう。

4月14日に起きた熊本地震は、家屋やライフライン、医療機関の機能ストップなど甚大な被害をもたらし、友の会は義援金活動などで支援しました。引き続き東日本大震災、熊本地震などの被災地支援をすすめます。

一年間の活動のまとめ

私たちは、平和憲法を守り、戦争しない国の歴史を守り、戦争法の速やかな廃止と安倍政権の退陣を求めてきました。また、安心できるまちづくりをめざし、助け合い運動をすすめてきました。

2000万の戦争法の廃止を求める統一署名を積極的におすすめ、友の会として1303筆（全体では2927筆）を集め、「友の会・9条の会」も推進を担いました。病院の玄関前、千駄ヶ谷、代々木駅での宣伝行動や、三者共闘で病院周辺の商店訪問にとりくみました。

外苑診療所が1月末で閉鎖となりま

地域のお祭りで健康チェック



「げんき食堂」で楽しく食事を



社教館まつりで健康チェック



した。経営難と医師確保困難が廃止の要因でしたが、友の会は、65年地域医療を支えてきた大切な財産であることから継続を求めてきました。大変残念な結果となりましたが、友の会は病院とともに、地域の医療と介護を守る決意です。

外苑診療所閉鎖に伴い、支えていただいた地域の皆さんに心からの感謝を伝えるため、「ありがとう、これからもちつき会」を1月24日開催、250名が参加しました。

友の会は外苑診療所地域の健康、医療を守り、生活を支える担い手になるうと2月から「送迎」と「げんき食堂」を始めました。「送迎」活動は、これまで「下駄ばき」で通えた外苑診療所の患者さんを週3回の午前中、代々木病院へ送迎し、登録者は8月末現在31人で延べ166人が利用しています。

通院困難な会員さんの足として歓迎され、中断患者をつくらない活動としても重要です。さらに、地域の居場所づくりとして「げんき食堂」を月2回開催しています。毎回15〜16名が参加、季節の食材を生かした料理を楽しみ、みんなでいっしょにとる食事と会話が好評です。5月から神宮前薬局跡で事業を始めた「ふれあいサポート渋谷」と連携し、介護でも必要な支援が受けられるよう働きかけています。

この活動をすすめるにあたって、地域の会員を訪問、健康、生活状況を知り、要求をつかむ活動で、「人となりがあって安心して暮らしたい」が住民の願いと実感しました。

高齢者が自分らしく、安心して地域で生活できるよう、介護の充実とともに、独自に「地域包括ケア」の担い手として、NPO法人設立も視野に入れて発展させます。

まちづくりは地元の商店会や町会とのつながりが欠かせません。神宮前商店街主催の「ピープルデザインストーリー」小学校での「千駄ヶ谷まつり」、鳩森神社の「盆踊り」「鳩森神社例大祭」「もちつき大会」への参加は年々地域住民との絆を強くし、仲間として受け入れられ、頼りにされています。さらに友の会は、渋谷区や社会福祉協議会などからも注目され、「こころばん体操」は高齢者の健康づくりのモデルとして問い合わせや見学者が相次いでいます。

第4回地域医療懇談会を「元気で長生き」「ピンピンころり」「生活習慣病」をテーマに3月開催しました。「こころばん体操」やその他のサークル活動は安定した運営がされています。それぞれのサークルで運営管理などの担い手として役員がうまれていることは大きな前進です。

第4回地域医療懇談会を「元気で長生き」「ピンピンころり」「生活習慣病」をテーマに3月開催しました。「こころばん体操」やその他のサークル活動は安定した運営がされています。それぞれのサークルで運営管理などの担い手として役員がうまれていることは大きな前進です。

熱中症予防対策では粘り強く渋谷区に要望書を提出、区と懇談し、75歳以上の高齢者を対象に室内温度計で注意を促すシートの配布、さらに防災無線を活用した注意喚起の放送も実施され、大きく改善されています。

早期に5000名の友の会を実現するため、強く大きな友の会と健康づくり「月間」にとりくみました。

会員2000人、「いつでも元気」30部の目標を掲げ、会員拡大は全体で132人、友の会は50人に対し42人を拡大、全体の結果から見れば大きな前進でした。サークル活動や食事会では「拡大に協力してください」の訴えを出し、協力を呼びかけました。いつでも元気は10部の目標に対し31部を拡大、ころばん体操で会長が訴え、スタッフが勧めることで成果につながりました。

今年度は、地域訪問活動、神宮前、千駄ヶ谷地域の「助け合い、支え合い」の活動が主要な柱になり、班会活動を十分でまかせました。その中でも、霞ヶ丘団地から引越しを余儀なくされる会員さんへの訪問、そのほとんどの引越し先である神宮前2丁目都営アパートには、何度も訪問によるアンケート活動をおこない、会員宅で「お茶会」を開くなど、きめ細かな活動をおこなってきました。



毎月「地域だより」を発行



ころばん体操の参加者でお花見



制度改悪を学ぶ社保セミナー

新東葛病院が5月1日にオープンしました。それに先駆けて見学会も実施、近代的な施設・設備に驚き、新たな発展を望むものです。

友の会共同墓地は、300名の会員を突破、第14回合同慰霊祭を開きました。

平和と社会保障、文化・レクリエーション活動

戦争法反対で国会や集会への参加、駅頭宣伝などの活動に全力をあげました。

「9条守れ」「戦争法廃止」の集会に参加し、「友の会9条の会」を継続して活動しました。毎月の6・9行動を実施し、原水禁世界大会へ代表を派遣しました。また「戦争体験を語り継ぐ会」は広島で被爆した服部道子さんの怒りの体験が語られ参加者に感動を与えました。

東京で開かれた日本高齢者大会に多くの会員が参加しました。

社会保障を守る活動では、医療・介護の改悪の中身を知るための「社会保障セミナー」を開催、改悪の実施をさせないように宣伝・署名活動を展開しました。

文化・レクリエーションでは、新緑の南房総への日帰り旅行を開催し、行き届いていて友の会らしいと好評でした。

た。「俳句の会」は講師不在のなか、自習句会を続けています。「俳句人九条の会」にも全員入会しました。

学習教育と宣伝の活動

戦争法廃止のキャンペーンをおこない、「9条守れ」「野党は共闘」を訴えてきました。

地域との共同を重視し、地域の「助け合い、支え合い」を紙面から訴えました。新企画「紙面なんでも相談」への反響もあり、好評です。

保健・ボランティア、組織を強く大きくする活動

昨年10月から始まった拡大月間では、会員拡大250名の目標に対し131名の会員を拡大、「いつでも元気」は30部の目標に対し31部を拡大しました。年間の拡大は400名の目標をかげ、8月現在198名です。友の会は、日頃のつながりやころばん体操、サークル活動、共同墓地、神宮前からの送迎活動、ばんき食堂で増やしました。

青空健康チェックは、鳩森神社、第一勧業信用組合前、代々木診療所前と代々木病院前で実施。千駄ヶ谷まつり、千駄ヶ谷社教館まつりや鳩森神社の盆踊りでも好評でした。

今年も熱中症予防の訪問活動を旺盛にすすめました。高齢者世帯や独居の世帯が増えているので会員訪問活動はますます重要になっています。

3月に「ふれあいコンサート」を開催し入院患者さんをはじめ100名を超える参加があり、合唱、楽器演奏やオペレッタを楽しみました。

各種サークルは、順調に参加者が増えていきます。特に布遊びは、本来の「布を使って手作りを」の基本を大事にしていることで、つくる喜びと「作

品が完成する」満足感を味わっています。「男の料理教室」は隔月から毎月開催にし、男性の参加者が増えています。第二回「つりの会」も開催、「歩こう会」は、大田区の六郷用水散策路や狭山の「トトロの森」などを散策し、森林浴や緑豊かな景色を楽しみました。

健康で長生きができるように疾病の早期発見をめざし、友の会ドックや各種がん検診活動を推進してきました。

9月に代々木歯科の協力を得て「歯周病の予防」をテーマに保健学校を開催しました。

来年度の活動方針

戦後最悪の安倍政権によって憲法9条を壊し、「海外で戦争しない」という大原則を投げ捨てる危険な情勢が進展しています。憲法違反の戦争法の発動を許さず、その廃止を求めたたいです。さらに、改憲阻止、「アベノミクス」による国民生活の破壊、格差と貧困の是正、TPPや原発、沖縄問題など国民の声に耳を傾けない強権政治をやめさせ、平和と暮らしを守る新しい政治をつくるために力を尽くします。

特に、高齢者と弱者いじめの社会保障改悪では、高齢者の医療費窓口負担を75歳以上についても2割負担を導入しようとしています。

介護保険では、福祉用具のレンタル料の支援の縮減、住宅改修費の支援削減や要介護1、2の訪問介護サービスで「生活支援」の縮減をはじめ、利用料自己負担「2割」の対象を拡大するというものです。保険料の徴収も支払い開始年齢を「40歳」からの引き下げを狙っています。

医療と介護を守るたたかいとともに、自治体に向けて、諸団体と共同で社会保障を守る運動をすすめます。助け合い、支えあいの「送迎」活動、

都営アパートで茶話会



東葛病院の見学会



「トトロの森」の歩こう会



「ばんき食堂」を更に発展させます。ころばん体操、健康麻雀、ヨーガ教室、布遊び、俳句の会、書道サロン、「歩きカメラ」を通して、「居場所づくり」「交流の場」を充実させます。

地域の商店街、町会、老人会などの手つなぎを強め、行事を通して繋がりを強めます。

今年度の共同組織拡大強化月間の拡大は5000名の峰をめざします。

平和と社会保障、文化・レクリエーション活動

平和を守る課題では、原水禁世界大会で決議された核兵器廃絶の新たな署名運動「ヒバクシャ国際署名」をすすめます。ひきつづき大会への代表派遣、戦争体験を語り継ぐ会を継続します。憲法を守る運動は、改憲を許さず、友の会九条の会を発展させ、集会や国会行動に参加し、また地域でも活動していきます。

社会保障を守る活動では、医療・介護の改悪内容を知らせ、署名、請願行動にとりくみます。社会保障セミナーは身近な内容で開催します。

文化・レクリエーションでは、日帰り旅行を実施します。俳句の会も継続し、また交流や文化に触れる企画なども検討していきます。

学習教育と宣伝の活動

ひきつづき安倍政権の暴走を告発し、政治は変えられるの確信を広げる紙面にします。

さらに、地域との共同、職員とともに紙面づくりができるよう努力し、楽しさが伝わる「友の会ページ」をめざします。

保健・ボランティア、組織を強く大きくする活動

年間600名の友の会会員と「いつでも元気」50部の拡大をめざし職員と共同してとりくみます。

班会を基礎にして会員相互の交流や居場所づくりをすすめる、空白地域の班づくり、休眠班の活動を再開します。また、班での食事会も企画します。

青空健康チェックを旺盛にすすめます。熱中症での会員訪問活動など困ったことや要望を聞く訪問活動をすすめます。友の会人間ドックや各種がん検診に大いにとりくみます。

保健学校を開催し、各サークルは、参加者と一緒になって企画を立て魅力ある内容で健康づくりをめざし参加者を増やします。

「ふれあいコンサート」を年2回開催します。病院と協同して地域で医療懇談会を開催します。

戦争法の発動許さず、地域の支えあいを担う友の会へ

仲間増やしの「月間」にご協力をお願いします

安倍政権が、安保法制
戦争法の成立を強行し
てから1年になります
が、いま、この法律の本
格的発動にのりだそうと
しています。さらに、参
議院選挙が終わったとた
ん、安倍政権が、暮らし
破壊の暴走を始めまし
た。

友の会は、憲法違反の
戦争法の発動阻止、社会
的な患者さんは、ぜひ、
友の会にまだ入ってい
ない患者さんは、ぜひ、
友の会にまだ入ってい
ない患者さんは、ぜひ、
友の会にまだ入ってい
ない患者さんは、ぜひ、

健康づくり、健診月間は 10月1日から2月28日

日頃の体の点検が大事
です。健診を友の会会
員の特典で実施します。こ
の機会にご入会くださ
い。また、会員のみなさ
か」と声をかけましょ
う。友人、知人に

地域医療懇談会

のご案内

テーマ「その人らしく生
きる 楽しい終活」(仮
称)
講演 代々木病院精神科
医師 中沢正夫

料金表 (税込み)

検査項目	友の会 料金	(一般料金)
乳がん検診 (触 診+マンモグラ フィー乳房エ コー検査)	3,000円	5,250円
乳がん検診と子 宮がん検診 (子 宮頸部の細胞診 セット)	7,000円	10,500円
前立腺がん検診 (PSA検査)	1,200円	2,100円
大腸がん検診 (便潜血2回法)	500円	2,100円
外来人間ドック	26,250円	35,000円



第30回日本高齢者大会に参加して

第30回高齢者大会は8
月28日(日)・29日(月)
東京で開催されました。
「まちから村からの連
帯でひとりぼっちの高齢
者をなくそう」「憲法を
活かし、戦争法廃止を、
いまこそ人間らしく生き
るために手をつなごう」
のスローガンにふさわし
い大会になりました。

一日目、学習講座が
24、分科会が22、移動分
科会が5と多彩で魅力的
な演題と講師陣の中から
「老々介護で 老後破産」
の講座に参加しました。
医療介護の制度の後退で
個人の力では人間らしく
生きて行けない高齢者の
現実、今更ながら怒りが
こみ上がりました。

二日目、東京国際フォ
ラムで全体会、日本の
65歳以上の高齢者は、3
000万人。政府に対
し、高齢者の尊厳とく
らしを守り、社会保障の充
実を求める一を決議しま
した。

鳥越俊太郎氏はノ一原
稿での記念講演はさすが
でした。参加者延べ1万
100人の東京大会に力
を貰った大会でした。

幹事 塩見謹二

紙面なんでも 法律相談

⑫ 家族が突然逮捕されたらどうする？

Q 突然警察署か
ら、「息子さんを
傷害罪で現行犯逮
捕しました」と連
絡がありました。
詳細は分かりませ
ん。これからどう
なるのでしょうか
？ 私に何かできる
でしょうか？

A 家族が逮捕される
なんて考えたこともな
いでしょうから、万
一このような状況にな
ると混乱されること
でしょう。

まず、逮捕された本
人ですが、通常は警
署内の留置場に入り、
携帯などの私物は取
り上げられてしま
います。逮捕期間は72時間

他方で、弁護士だけ
はいいつでも本人と面
会することができま
す。不安な本人と真
先に面会し、手続の
流れや取調への対
応方法を教えるた
り、外部との連絡
役をつとめること
ができます。また、
今回の

（弁護士・三浦佑哉）
ご連絡は代々木総合
法律事務所 電話（3
379）5211

お知らせ

歩きカメラ

このたびは、みなさま
のご要望を受けて、「歩
きカメラ」サークルを
発足させました。写真
は肩ひじ張らずに撮っ
ていきたい。でも、上
手にキレイに撮りたい
。写真を撮る仲間とあ
ちこち出歩きたい、な
どなど、あれやこれや
楽しみましょう。

こころばん体操

▽10月5日・12日・19
日 26日の毎週水曜
日
▽10月7日・14日・21
日 28日の毎週金曜
日
▽10時30分～12時
▽日パピル102号
参加費1回毎100円

ヨーガ教室

▽10月3日・17日・24
日

書道サロン

・31日の毎週月曜日
▽午前10時～11時30分
▽場所はふれあい会館
▽会費月2100円

俳句の会

▽10月5日(水)
▽午後2時～4時30分
▽千駄ヶ谷社教館(和
室)

健康麻雀

▽参加費200円
▽10月12日・26日(水)
▽午後2時～4時
▽日パピル102号
参加費1回毎200円

布遊び

▽10月14日(金)
▽午後2時～4時まで
▽代々木病院東館地下
会議室
▽参加費500円(非会
員600円)

男の料理教室

▽10月29日(土)
▽午後6時～
▽千駄ヶ谷社教館
参加費1000円

住宅リフォー ム相談会

▽10月20日(木)
▽午前10時～12時
▽代々木病院2F待合
室
電話相談も承ります。

○ジョギング(マラニ
ック)サークルは、9月
で終了しました。

すべての行事等の問
い合わせ、申し込みな
どは、友の会事務局ま
でお願いします。

また、転居などで住
所が変更される場合
は、友の会事務局まで
ご連絡下さい。

1階待合室の友の会
事務局は平日は10時
から4時まで、この時
間以外は2階広報室
でご利用ください。

直通番号 (5411) 9589
ファックス (3404) 3421



薬剤師募集!!

私たちの合言葉は「命は平等」
平和と人権を守る、民医連の薬局です
連絡先 (株)外苑企画商事 電話03(3402)2108